

未来を担う若者たちに、
あなただから伝えられること、
きっとあります。



MIYAGI CRAFTSMAN21

みやぎクラフトマン21

みやぎクラフトマン21 事業事務局

地域の企業、熟練技能者の力が
ものづくりを未来へ導く――。
未来の「ものづくり」を担う若者を育てるために、
地域のみなさまの力が必要です。

人口減少に直面する中、宮城県は生き残りをかけて「富県戦略」を進めてきました。

県民の生活を豊かにするためにはどのような産業構造にするべきか――。

議論の中で、製造業を集積促進させ、じっくりと成長させていかなければならないと考えようになりました。

製造業の集積促進、企業誘致と、地元企業の取引拡大に力を注いでいます。

近年、県内では、自動車産業や高度電子機器産業などの分野で大手企業の進出が相次いでいます。

製造業の集積を進めすそ野を広げていくためには、人材確保が欠かせません。

育成へのニーズは年々、高まっています。

そうした中で、みやぎクラフトマン21事業は、産業界と行政、学校が手をたずさえながら、事業を進め、25年度で7年目を迎えます。

事業では、高校生が企業の方々との交流を通じて、実践的な技術や知識を学んでいます。

「企業人」が培ってきた技術はもちろんのこと、厳しく険しい困難に立ち向かっていく社会人、職業人としての志も、はぐくまれてきました。

そうした輪を広め、継続的にものづくり人材を育成していくためには、地域を担うみなさまの力が欠かせません。

将来を担う若者をはぐくむために、いま、事業では多くのみなさまの力を必要としています。



CONTENTS

P4…… **みやぎクラフトマン21 事業とは？**

P6…… **新たなプログラムの実践** ①生徒・教員に自動車の仕組み教える
②スマートフォンのアプリを開発
③高校生溶接技術競技会・講習会

P9…… **定着化を見せるプログラムの数々**

P10…… **INTERVIEW** ①日立ソリューションズ東日本 技師 松本和芳さん
②前 米谷工業高校（現 仙台工業高校）校長 西尾正人さん

P11…… **平成24年度までにご協力いただいたみなさま**



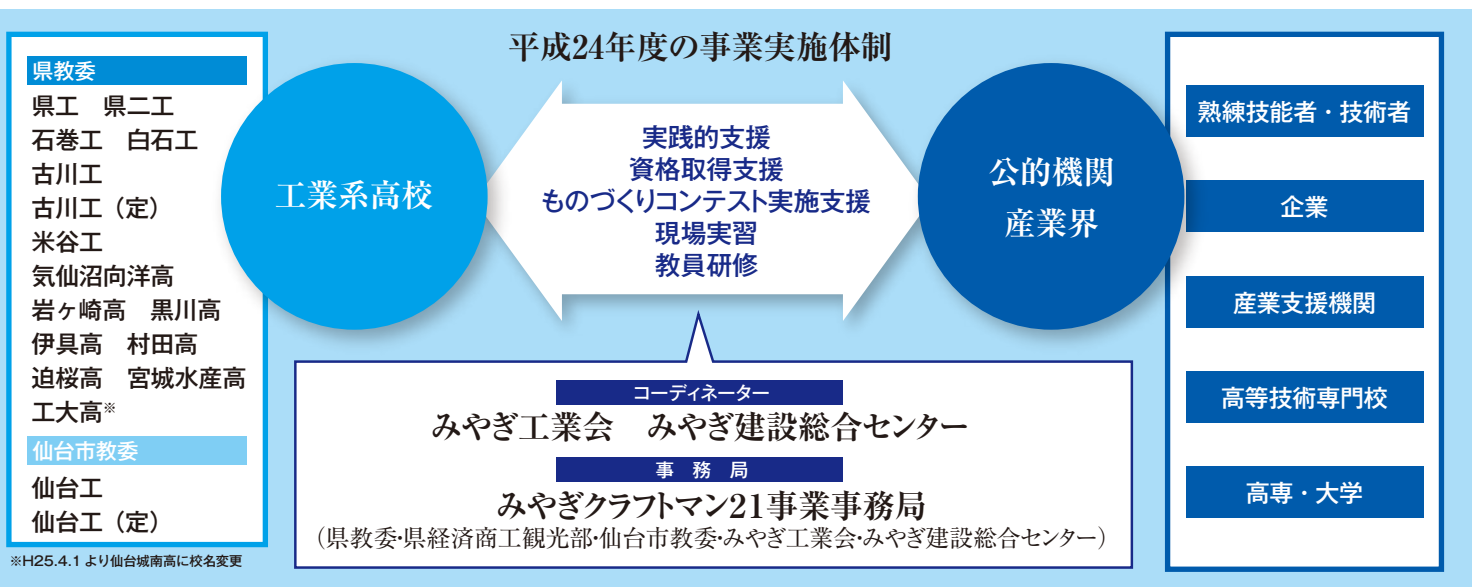
みやぎの「ものづくり人材」をはぐくむ プログラムの数々とその成果。

みやぎクラフトマン21事業とは？

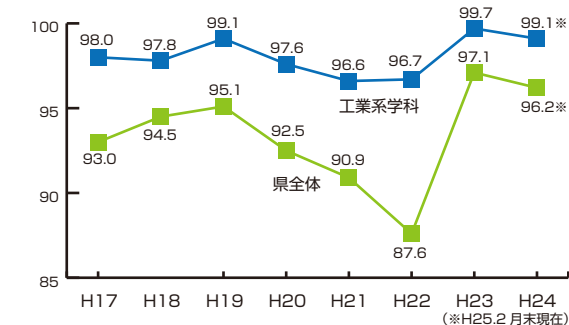
みやぎクラフトマン21事業は平成19年度に県内の工業高校4校ではじまり、参加校を県内すべての工業系高校に拡大してきました。みやぎ工業会とみやぎ建設総合センターがコーディネーターを務め、地域の産業界、行政、教育機関と連携・協働し、長期間の実習や企業技術者の授業などで、将来の産業を担うスペシャリストの育成と専門教育の充実を進めてきました。

24年度は、機械、電気・電子、建築、土木、化学工業、情報技術などの分野で、県内15の工業系高校が、163のプログラムを実践。各高校で企業の方々へ技術指導や社会人講話のほか、資格取得やコンテスト出展のための技術指導にあたっていました。

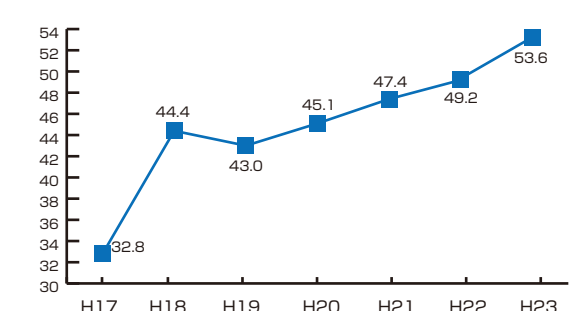
また工場見学やインターンシップなどで、生徒、教員が企業を訪問し、「しごと」の一端を見学、体験することで、企業人としての技術と、技能の向上に励む姿はもちろんのこと、厳しく険しい困難に立ち向かっていく社会人、職業人としての「志」を教えていただきました。



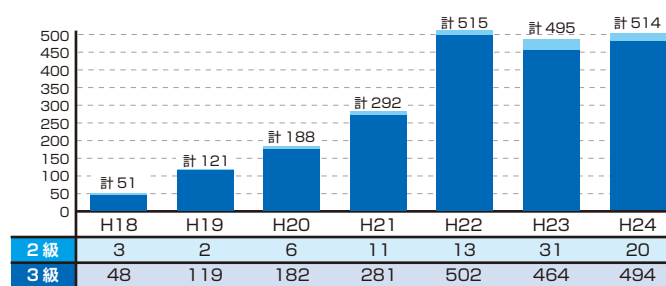
■就職内定率の推移比較 県全体と工業系学科



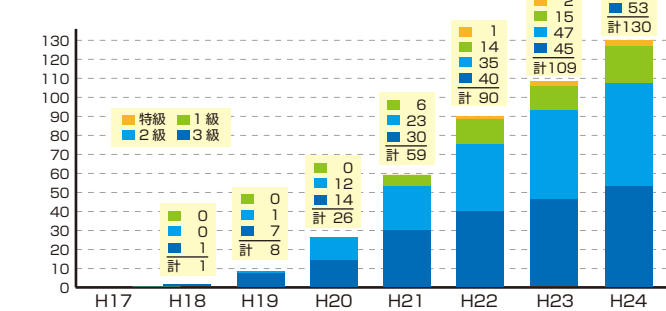
■工業系高校生の製造業への就職比率推移



■技能検定 高校生合格者の推移



■技能検定 教員合格者の累計推移



新たなプログラムの展開

新たなプログラムとして、平成24年度は、自動車整備士を養成する「花壇自動車大学校」（仙台市青葉区）が、トヨタ自動車東日本（大衡村）からエンジン10基の提供を受け、自動車技術に関する講習会を開催。県内工業系高校の生徒や教諭100人以上が自動車の仕組みなどについて、知識を深めました。

また、24年12月～25年1月にかけては、ポリテクセンター宮城（名取市）で、溶接技術の講習会と競技会を組み合わせて開催。東日本大震災からの復旧・復興で必要とされる溶接技術の底上げを図ろうと、みやぎ工業会、県高校工業教育研究会などが企画し、県内の溶接関連企業の協力で実現することができました。

石巻工業高校では、地元のNPO法人などの協力のもと、アプリケーション開発に取り組むなど、各校での実践プログラムは年々、広がりを見せています。

目に見える事業の成果

ものづくり人材を育てる目的ではじまった事業は、成果が目に見えるかたちで表れはじめています。昨年10月に長野県で行われた技能五輪全国大会では、県内の工業高校を卒業した若者が旋盤、フライス盤、溶接、自動車板金の4分野で入賞。在校生も若年者ものづくり競技全国大会などで、数々の賞を手に入れました。県内工業系高校の製造業への就職率は高まり、技能検定の合格者も増加をたどっています。

「キャリア教育推進連携表彰」を受賞

事業は平成24年度、「工業系高校におけるキャリア教育として全国に展開できる好事例」と評価され、経済産業省、文部科学省が実施する「キャリア教育推進連携表彰」の奨励賞を受賞することができました。

東日本大震災の復旧、復興で多くの困難に直面しながらも、企業のみなさまのご協力、今日まで事業を続けてきました。

地域産業を継続的に支える「仕組み」として定着させていくためにも、地域を担う企業のみなさまのご協力が必要と考えております。



輝かしい成果

在校生が各種全国大会で活躍

- 若年者ものづくり競技大会
フライス盤：2位、電気工事：敢闘賞、電子回路：特別賞
- 高校生ものづくりコンテスト 旋盤：3位
- ものデザインコンテスト：優秀賞
- U-20 プログラミングコンテスト：経済産業大臣賞

みやぎクラフトマン21事業を体験した若者が就職先で活躍

- 『第50回技能五輪全国大会』
旋盤：金、銀、銅賞 フライス：銅賞 溶接：敢闘賞 自動車板金：敢闘賞

新たなプログラムの実践①

生徒・教員に自動車の仕組み教える

トヨタ自動車東日本・花壇自動車大学校

自動車整備士を養成する専門学校、花壇自動車大学校（仙台市青葉区）で平成24年度、自動車技術に関する講習会を開きました。

講習は、地域のものづくり人材育成に貢献しようと、トヨタ自動車東日本の提案で実現。花壇自動車大学校が会場の提供と講師を務め、みぎ工業会がコーディネート役を務める形で進められました。

講習会は、長期休暇中などに行われ、古川工業高校や黒川高校、村田高校、県工業高校の生徒や教師計約140人が参加しました。

講習では高校生や教員が、トランスミッションやブレーキなどの自動車の構造を学ぶとともに、トヨタ東日本が教材用に提供した新品のカローラ系のエンジンを2人1組で分解し、組み付ける一連の作業を体験しました。

花壇自動車大学校の教官から、最新のエンジンの構造などについて、説明を受けた後、生徒たちは、工具を使って、エンジンを分解し、再び組み付けて、エンジンを点火させるなどしました。

参加した生徒からは「車に関して、ほとんど知識がない状態だったが、講習を通じて、徐々に興味が出てきました。ここで学んだ知識を将来に活かしたいです」「部品を手に作業をすることで、仕組みが良く理解できました」という声が聞かれました。

◎受け入れ先の花壇自動車大学校・小野寺敬司教頭の話

「将来の進路選択をする上で、生徒にとって、この経験が役に立てばうれしいと思っています。このような教材が提供され、学校としての幅も広がりました」



新たなプログラムの実践②

スマートフォンのアプリを開発

ISHINOMAKI2.0

石巻市で復興に向けたまちづくり活動に取り組む一般社団法人「ISHINOMAKI(石巻)2.0」の理事で石巻工業高校OBの古山隆幸氏は平成24年度、同校電気情報科で、ソフトウェアの開発支援にあたりました。

最初に取り組んだのは、Fandroid EAST JAPAN主催のスマートフォンのアプリコンテスト企画部門応募への指導でした。

3年生の生徒9人は、同年5月から古山氏の指導で、「東北の旅を楽しむ、便利にするアプリ」の開発をしました。

古山氏が企画したIT BOOTCAMPと呼ばれるプロジェクトでは、楽天やGoogleのプログラマーから直接指導を受け、技術を磨きました。

そこで開発した作品は、アプリ甲子園2012に出展。見事に決勝に進出することができ、3人の生徒が東京都港区でプレゼンテーションを行いました。

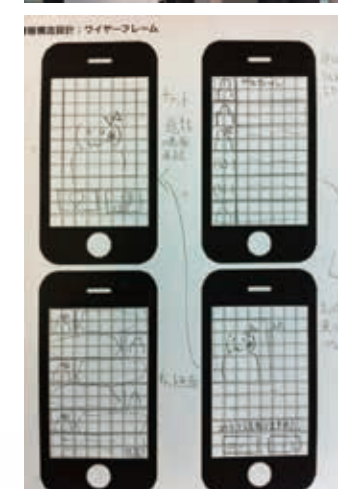
また、それまでの活動を評価され日本Android会主催の「Android Bazaar and Conference ABC2012」でも発表。Androidの最先端技術の発表会で、高校生としては、異例の機会を得ることができました。

◎鈴木圭教諭の話

IT企業で働いている開発プロセスを1年間という限られた期間で体験する事ができました。

考えているアイデアを形にして相手に伝える発想の段階、作品を制作するために、必要最低限の知識を学習する段階。この学習の場を提供する事で、生徒それぞれが開発をする事ができるようになりました。そして、アプリ甲子園やABCで発表しました。

学校では今年度、3年生への指導となりましたが、来年度以降もっと早い段階で開発スキルを身につけさせたいと考えています。開発期間が長くなることでより高度で基礎をしっかりと学ぶことが可能になると思います。



新たなプログラムの実践③

高校生溶接技術競技会・講習会

宮城職業訓練支援センター・溶接関連企業・溶接熟練技能者

高校生が溶接技術を競う「高校生溶接技術競技会」が1月中旬に、名取市の宮城職業訓練支援センターで行われました。

企業が提供した材料や用具と、支援センターの設備を利用。生徒は、計2回の講習会で、ポリテクセンターの指導員と県内の溶接関連企業から派遣された技術者から溶接の手ほどきを受け、競技会に臨みました。

競技会では、県内の工業系高校の生徒21人が参加し、厚さ9ミリの鋼板2枚を使った「手溶接技能者評価試験」の課題で、溶接部の見た目や作業手順、安全管理などの項目で技術を競いました。競技会終了後には全国トップレベルの匠の技をデモンストレーションしていただきました。

優勝した県工業高校3年・庄司和樹さんは「学校では学べない技術や作業の手順などを指導していただいたことが新鮮でした」と講習での感想を話していました。



◎県内の工業系高校で溶接の技術指導をする宮富士工業
後藤春雄社長の話

「教えるは、覚えるの道半ばなり」が座右の銘です。技術は独り占めするものではありません。ものづくりの楽しさを若い人たちに知ってもらえたらと思っています。



定着化を見せるプログラムの数々

学校内実践プログラム

企業の技術者に学校に足を運んでいただき、技術指導をお願いしています。また、仕事の大切さなどをお話しいただく講演もお願いしています。

教員向けの技術研修では、指導力向上のための指導をお願いしています。

これまでの取り組みで、資格取得・コンテストにチャレンジする生徒が急増。高度技能者の指導で、各種コンテストや技能オリンピックで、好成績を収めています。



プログラム名	期間	受講生の人数	実施内容とねらい
授業支援 (技術指導・社会人講話)	半日～数日	10名～40名程度	企業の方の実践的な指導をいただくことで、技能・技術の習得を図るとともに、仕事にかける熱い想いを聞かせていただき、勤労観や職業観の育成を目指します。
資格取得指導	半日～数日	1名～10名程度	学校の放課後や休日に、企業の技能・技術者から資格取得のための実践的な指導をいただくプログラムです。
教員向け技術研修	半日～10日	1名～3名程度	企業の技能・技術者から指導をいただき、教員の技能・技術向上を図るプログラムで

企業内実践プログラム

工場見学・現場見学では、第一線のしごとの現場を見せていただき、生徒が働くことに対するイメージを深めることを目的に実施しています。

地域の企業のみなさまからの提案をベースに、これまで様々なプログラムができあがりました。



プログラム名	期間	生徒の人数	実施内容とねらい
工場・現場見学	2時間～半日	5名～40名	「しごと」の第一線を見学し、技術者の話を聞くことで、生徒のものづくりに対する興味関心を引き出し、理解を深めることを目的としています。
入門 インターンシップ	3日～5日	1名～5名程度	社会人基礎力の養成と勤労観の醸成に主眼を置いたプログラムです。
弟子入り インターンシップ	10日～2週間	1名～3名程度	社会人基礎力の養成とともに、技能・技術の習得を目指したプログラムです。
デュアルシステム	20日～2カ月	1名～2名程度	インターンシップの発展型として、展開しています。学校での学習内容とリンクした企業実習を通して、実践的な技能・技術者の育成を図ります。

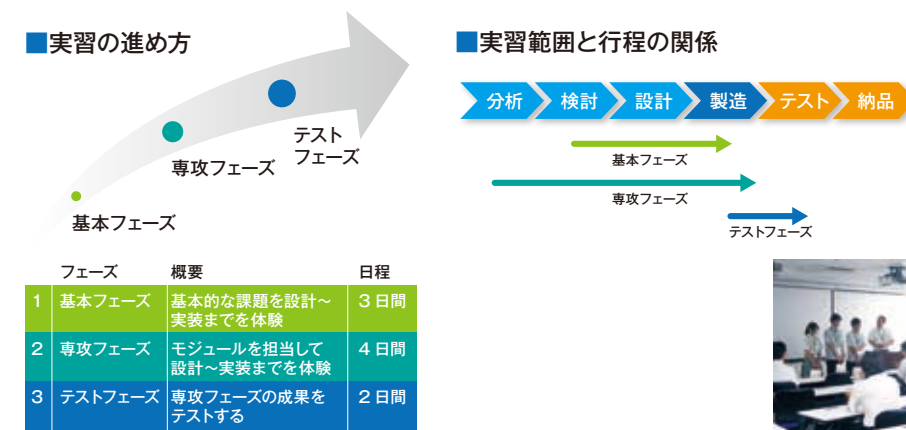
◎展開している技能分野・実習内容例

<全般>	●各種技能検定・資格取得	●5S	●IE	●KYT	●QC
<機械系>	●旋盤加工	●フライス盤加工	●鋳造	●溶接	●3D-CAD/CAM/CAT/CAE
	●QC				
<電気・電子系>	●電子機器組み立て	●電気工事	●シーケンス制御	●電気設備のメンテナンス	●QC
<建築系>	●設計	●デザイン	●建築材料	●建築模型製作	●木材加工
	●施工管理	●CAD	●QC		
<土木系>	●設計	●平板測量	●安全	●地質調査	●施工管理
					●CAD
<化学工業系>	●廃棄物処理	●食品製造	●プラスチック製造	●公害防止管理	●めっき処理
					●QC
<情報技術系>	●ソフトウェア開発	●プログラミング	●組み込み技術	●ハードウェア制御	●QC

地域の人材育成に関わるきっかけになりました。
今後もインターンシップの受け入れなどで、
地域を良くする活動に参画していける会社で
あり続けたいと思っています。

日立ソリューションズ東日本 技師 松本和芳さん

日立ソリューションズ東日本(仙台市青葉区)は5年前から、県工業高校情報技術科の生徒をインターンシップで受け入れています。電卓のアプリケーションを作る協働作業で、会社の仕事を知るプログラムは、「弟子入り」と名付けられ、参加した生徒がコンテストで受賞することにも、つながっているそうです。担当する同社公共ソリューション本部事業推進センターの松本和芳さんにお話を伺いました。



—御社のインターンシップの取り組みについて教えてください。

ソフトウェア開発をするプロセスを一通り体験してもらう「弟子入りインターンシップ」を5年前から実施しています。

県工業高校の生徒のみさんには2週間、会議で議論するなどしながら、実際に電卓のプログラムを組んでテストをするなど一連の流れを体験してもらっています。

インターンシップのプログラムは、お互いを理解しながら、分担作業をして、組み合わせるということを意識して、作っています。人によって得意、不得意があります。文字列の解析を書く人と、画面のデザインを考える人、それぞれが、それを認識しながら進めてもらっています。

—2週間のプログラムで、生徒の成長ぶりはいかがですか。

最初はこちらから声を掛けてもらいアクションが少ないのですが、後半になると、会話をしながらものを作る雰囲気が出てきます。発表会では堂々と成果を社員の前で報告します。2週間がちょうどいいポイントなのではないかと思っています。

—プログラムを作るなど、会社にとって、手間がかかると思いますが、メリットはあるのでしょうか。

ソフトウェア業界全体に言えることだと思うのですが、私たちは、あまり人と接する機会がありません。

そうした状況で、地域と接することは、意識しないと難しい。一方で、地域の企業としてやっていくためには、地域の人とコミュニケーションを、ニーズを肌で感じる大切だと思っています。

いま、新しい取り組みを企画しています。県工業高校のクラブ活動で、社会に役立つシステムをやってみよう、先生と話を進めています。

技術的に不足している部分をサポートしていく流れができれば、役に立つものを、どんどん世の中に出すことができますし、高校生の自信につながるのかなと思い、企画しました。

—みやぎクラフトマン21事業について、どのように感じていますか。

国などが人材育成をめぐり、さまざまな議論をしていると思うのですが、企業がうまくその中に入ることができていないように感じています。

そうした中で、みやぎクラフトマン21事業は、私たちに地域の人材育成に関わる機会を与えてくれました。このような機会がなければ、高校に出向き、人材育成について考えることなどは、なかったかもしれません。

地域の会社としてのエッセンスを入れて、地域を良くする活動にこれからも参画していける会社でありたいと思っています。

生徒の感想

- 問題を解くためのアルゴリズムの大切さを理解することができた。
- チームとして作業することの必要性や重要性を感じ取ることができ、チーム内での話し合いなども含め、チーム作業の難しさも学ぶことができた。
- 成果発表会を通して、自分の考えやチームの考えを、人に分かりやすく伝えることの大切さや難しさを体験することができた。

技能レベルが格段に向上。 生徒の「工業人としての資質」を 大きく成長させてくれる地域企業の力に 期待しています。

前 米谷工業高校 校長 西尾正人さん
(現 仙台工業高校 校長)

みやぎクラフトマン21事業がスタートして、25年度で7年目を迎えます。県内外に多くの産業人材を送り出している工業系高校の現場は「クラフトマン」をどう捉えているのでしょうか。県内各地の工業高校で生徒を指導してきた西尾正人校長にお話を伺いました。



—「クラフトマン21」事業の取り組みの効果をどのように感じていますか。

事業がスタートする前、県内の各工業高校では、教員が生徒に知識を教えることができて、高いレベルの技能を教えることはできませんでした。それが、クラフトマン21事業が始まったことで、生徒の習得できる技能のレベルが格段に上がりました。県内の工業系高校生の資格取得者数が顕著に伸び、就職率が高いのは、事業によるところが大きいと思います。

—具体的には。

生徒だけでなく教員も指導を受けているので、教育環境そのものが向上したと言えます。そこで生徒と一緒に教員も指導を受け、資格を取得し、いまでは教員の指導だけで多くの合格者を出せるまでになりました。ただ、事業の価値はそれだけではないと思います。“工業人”としての資質を成長させてくれるところにあります。

—技能の伝承だけでなく、人材育成に役立っているということでしょうか。

いまは、資格をとったからといって、すぐに企業で通用するわけではありません。大切なのは、生徒がものをつくることの面白さや、つくったものが世の中で役に立つことへの喜びを感じることができることです。資格をとったという『結果』ではなく、(実際に社会で働く)高度熟練技能者らが指導する『過程』で、その資質の部分が育まれ、生徒たちが成長しています。技能者の方々が真剣に生徒に教える姿に、あらためて、“人づくり”が大事だと感じさせられます。キャリア教育にも繋がっていますし、(工業系高校卒業生の)定着率が高い理由もそこにあると考えます。

—クラフトマン、そして地域企業に期待することは。

その輪がもっと広がってほしいと思います。いまは旋盤やフライス盤、溶接など機械系の技能習得が中心になっています。昨年度、石巻の事業所と石巻工業高校でソフトウェア開発という新しい取り組みがありましたが、機械系以外の学科でも、もっと参加できるものがあると良いですね。そのためにも幅広い業種で、たくさんの企業が連携してくださることを望んでいます。

—石巻のケースは、地域の企業が地域の人材を育てる好例ということでしょうか。

実際、各高校で旋盤などの技術を地元の技術者の方々から教えてもらっており、事業は地域とのネットワークをつくるという意味で役立っています。

かつて私が白石工業高校にいた当時、地域の振興事務所に協力を要請すると快く受け入れてもらいました。人材育成に対して非常に熱心で、指導を受けることができた生徒が卒業して地域の企業に就職していく循環のかたちがありました。行政の力も借りながら、地域(企業)にメリットがあるようなシステムを示していければと思います。

—最後に今後のクラフトマンに期待することはどんなことでしょうか。

社会で役に立ったという満足感を生徒たちに感じさせることができればと思います。昔は実習の過程で生徒が実際に街の中に建造物を作る機会がありました。学校の中で技能や知識を教えているだけでは、何のために金属を削っているのか、ものをつくっているのか、というのがわかりにくい。お金をもらうためという話だけではなく、社会で役に立つという喜びを感じさせられることができれば、成長につながるだろうし、『働く』ことへの意識もかわってくると思います。そういう機会を与えてくれるような企業の参加を期待しています。





平成24年度までにご協力いただいたみなさま

総計：433社・人（H24年度協力頂いた企業・個人の総数：148社・個人）

仙台市 (株) INA 新建築研究所東北支店 (株) 阿部和工務店 阿部建設(株) (株) 石井組 (株) 大林組 東北支店 奥田建設(株) 鹿島建設(株) 東北支店 清水建設(株) 東北支店 仙建工業(株) 本社 戸田建設(株) 東北支店 (株) 間組 東北支店 (株) 橋本店 早坂建業 佐々良建設(株) (有) 佐惣工務店 (有) 佐藤要次建業 (有) フラニチュアマサキ&ヒロシ (有) ヤママン山田建業 (株) 櫻田建築設計事務所 (株) 楠南設計 (株) COS 設計 (株) 盛総合設計 (株) 東北建築設計監理事務所 (株) 図設計 (有) 阿部仁史アトリエ (有) フロムエック1級建築士事務所 安井妙子 アトリエ (株) アート・クラフトインターナショナル 宮城県板金工業組合(大友板金店) 宮城県板金工業組合(佐々木板金店) 半澤左官店 ゆにふりみやぎ FROM ALEX (有) 鈴木彫刻店 (有) サンダル (株) 構建築設計事務所 (株) ノースクラスト (有) 猪股工務店 (有) 山家建業 (株) ホテル仙台ブラザ (株) 紅陽グランドホテル (株) あいあーる平安祭典 (株) 熊野洞 (株) ユーメディア アトリエ光彩舎 有) 山達瓦工業所 (株) 中村鬼瓦製造所 宮城県冷凍空調設備工業会 イシイ(株) 赤坂建設(株) 熱海建設興業(株) 河北建設(株) 皆成建設(株) 金福建設(株) 木皿建設(株) サイト工業(株) 〔旧(株) 角田組〕	(株) 関工務店 (株) 高工 高野建設(株) 長谷川建設(株) (株) 深松組 山辰建設(株) 植新緑化(株) (株) 東北バシフィック 世紀東急工業(株) 東北支店 (株) 東建工営 (株) 光生エンジニアリング (株) サトー技建 佐野コンサルタント(株) (株) 建設システム仙台営業所 (株) 仙台技研 (株) 桑折コンサルタント (株) 新東洋技術コンサルタント (株) 復建技術コンサルタント 仙台工科専門学校 福井コンピュータ(株) 仙台営業所 (株) ケディカ 東北緑化環境保全(株) (株) 日本セラテック (株) キノックス (株) エンジニア・サイエンス 梶原電気(株) 工藤電機(株) 太平電気(株) 通研電気工業(株) 東芝エレベーター(株) 東北支店 宮城県電気工事工業組合(仙台支部) (株) ユアテック (株) ユアテック電気設備部 (株) ユアテック 宮城支社 凌和電子(株) イーハードプラン人材活性センター (有) 小野電設サービス 株式会社TTK (株) 日立ソリューションズ東日本 (株) 大塚商会 仙台支店 (株) エービーケーエスエス仙台営業所 小野敏一 龍谷一彦 (株) トーキンマシナリー (株) 相沢製作所 東工業(株) JFE条鋼(株) 仙台製造所 新日本石油精製(株) 仙台製油所 東洋刃物(株) 本社 仙台自動車整備工業団体協同組合 (株) 太陽自動車工業所 宮城自動車工業(株) 宮城トヨタ自動車(株) 宮川ローラ(株) 八十島プロシード(株) 宮城第一メタル(株) (株) 大場工業	宮城県板金工業組合 小林ダクト工業 せんだいデザインウイーク実行委員会 宮城インテリアコーディネーター倶楽部 宮城産業デザイン交流協議会 学校法人 花壇自動車大学校 東北工業大学 工学部 東北大学 大学院工学研究科 東北大学 多元物質科学研究所/機械工場 宮城教育大学教育学部 学法北杜学園仙台情報工科専門学校 東北文化学園大学 仙台高等技術専門学校 仙台市立向山小学校 仙台市立原町小学校 仙台市立宮城野小学校 仙台市立東宮城野小学校 (社) 宮城県溶接協会 (社) 宮城県測量設計業協会 (社) 東北地質調査業協会 宮城県屋外広告美術協同組合 (財) みやぎ建設総合センター (社) 宮城県建設業協会 (社) 仙台建設業協会 宮城県建設職組合連合会 (社) 宮城県建築士事務所協会 (財) 東北電気保安協会 宮城事業本部 (財) 東北電気保安協会 仙台中央事業所 (財) 東北電気保安協会 仙台北事業所 (財) 東北電気保安協会 仙台東事業所 (財) 東北電気保安協会 仙台南事業所 (社) 東北電気管理技術者協会 東北電気計器検定所 東北支社 宮城県産業技術総合センター (財) 宮城県公害衛生検査センター (株) 安全教育センター 本社 国交省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 東北 IE 協会 (株) 河北新報 東北電力(株) 新仙台火力発電所 東北電力(株) 研究開発センター (株) 神戸製鋼所溶接事業部門東北営業所 日鐵住金溶接工業(株) 東北支店	大和町役場 大衡村役場 吉岡小学校 大衡中学校	仙台圏東部 及川工務店 川村工務店 ソニー仙台 東北発電工業(株) 利府製作工場 東洋刃物(株) 多賀城工場 東北電機製造(株) 明和工業(株) 仙台営業所 渡辺勝行 東北学院大学 工学部 雇用・能力開発機構宮城センター 東日本旅客鉄道(株) 新幹線総合車両センター 鎌田電設	仙台コカ・コーラボラックス(株) 蔵王工場 トーカドエナジー(株) 白石工場 (株) ニチレイフーズ 白石工場 NEC トーキン(株) 白石事業所 安達克夫 加藤民男 (株) 東京ダイヤモンド工具製作所 渡辺義二 高橋辰男 平間輝夫 勝尾 豊 (株) エコー設備工業 仙南電気事業協同組合 (財) 東北電気保安協会白石事業所 平間電設(株) 有田工業 一級建築士事務所 ちろりん村役場 宮城県建築士会 白石・刈田支部 (株) 松浦組 (株) 八重樫工務店 (株) 武藤工務店 (有) 鈴木工務店 (株) 武田工務店 (株) 吉内鉄工建設 日下基 建築店 (株) シマヌキ建工 (有) SAM 建築設計事務所 (有) 阿部工営社 (株) 岡崎工務店 (株) ヤマプラス仙台 モノ作りの問題解決研究所 鈴木労働安全コンサルタント事務所 宮城県大河原土木事務所 国交省 東北地方整備局 セク宿ダム管理所 白石城管理事務所 (財) 白石市文化体育振興財団 丸森町蔵の里郷土館(斉理屋敷) 仙南芸術文化センター(えずこホール) 白石市役所 建設課 蔵王町役場 建設課 大河原町役場 地域整備課 仙南地域広域行政事務組合 消防本部 仙南地域広域行政事務組合 大河原消防署 仙南地域広域行政事務組合 柴田消防署 宮城県仙南・仙塩広域水道事務所 陸上自衛隊船岡駐屯地 協業組合 仙南車検センター (株) 菅生	(株) 昭和きかん (株) 新和機械 (株) 新和エンジン (株) 藤田鐵工所 北斗(株) 雪ヶ谷精密工業(株) (株) 気仙沼商会 (財) 東北電気保安協会 気仙沼事業所 白石電気工事(株) 国交省気仙沼国道維持出張所	登米圏 迫リコー(株) 登米精巧(株) いのまた自動車 とよま振興公社 (財) 東北電気保安協会 佐沼事業所	栗原圏 サンドビグツリングサプライジャパン(株) 瀬峰工場 東北職業能力開発大学校 宮城県北部土木事務所栗原地域事務所	石巻圏 加藤 昇 (株) 協和産業矢本工場 五洋紙工(株) 東北工場 セイホク(株) 石巻工場 東北電子工業(株) 東和工業(株) 日本製紙(株) 石巻工場 日本製紙ユニテック(株) 石巻事業所 平河ヒューテック(株) 桃生工場 (株) 堀尾製作所 (株) 松本鐵工所 石巻事業所 (株) 宮富土工業 (株) 宮城プラントサービス (株) ヤマニシ (有) 小松自動車工業 (株) TK自動車 トヨタカローラ宮城(株) アムシス (株) ホンダブラザ石巻 宮城トヨタ自動車(株) 石巻店 宮城ヤンマー(株) 第2事業部 (有) 山内自動車 (株) 高光自動車工業所 (財) 東北電気保安協会 石巻事業所 (株) 宮城電気サービス 森田電気産業(株) 石巻出張所 (株) ユアテック 石巻営業所 NPO isinomaki2.0 石巻環境サービス(株) 石巻センター 協業組合 石巻廃棄物処理センター (株) マルハニチロ食品石巻工場 NPO ビホロ 「企業組合 ビホロ」 中島産業(株) 石巻地区消防本部 勤務 高橋正志	東北緑化環境保全株式会社 つくし薬局 久我建設(株) 児嶋産業(株) (株) 西条設計コンサルタント (株) 佐藤土木測量設計事務所 (株) 瀬崎組 総武建設(株) (株) 武山興業 高橋土建(株) (株) 千葉測量技研 津田海運(株) 日野測量設計(株) ニツ山建設(株) (株) 丸本組 (株) 山内組 遠藤興業(株) (株) 角張工務店 田中建設(株) 若生工業(株) (株) 高橋工務店 津田建設(株) ヒノケン(株) 菱中建設(株) 石巻支店 (株) 山大 さとう1級建築士事務所 (株) 石巻設計センター (有) 大場建築設計事務所 (株) 木村正友設計事務所 芦沢啓治建築設計事務所 (有) 吉美設計 石巻専修大学 理工学部 基礎理学科 石巻市立貞山小学校 石巻高等技術専門学校 日本工科専門学校 石巻市役所 建設部 建築課 (社) 宮城県建設業協会石巻支部 (社) 宮城県測量設計業協会石巻支部 (財) 宮城県下水道公社 石巻処理場 知的障害者通所授産施設 かなん (株) 街づくりまんぼう 石巻コミュニティ放送(株) いしのまき農業協同組合 中里店 石巻埠頭サイロ(株) 南光運輸(株) (株) ナリサワ (株) 阿部直商店 カガク興商(株) (株) 守平商店	アルプス電気(株) 古川工場 (株) 東北イノアック (有) 千田清掃 日本クリーンオイル(株) 宮城県立大崎高等技術専門学校 (財) 東北電気保安協会 古川事業所 宮城県北部土木事務所 国交省北上川下流河川事務所 国交省北上川下流河川事務所大崎出張所 国交省仙台河川国道事務所古川国道 維持出張所 大崎市役所 (社) 宮城県建設業協会大崎支部 (社) 宮城県測量設計業協会大崎支部 (株) 大崎測量設計コンサルタント (株) 古川測量設計事務所 (株) 江合技術コンサルタント (株) 荒谷土建 石堂建設(株) (株) 金原土建 (株) 笹原組 (株) 佐々木組 (株) 佐藤工務店 (株) 仙北建設 東北舗道建設(株) 丸か建設(株) (株) 村田工務所 (株) 菅原工務店	県外 (株) IHI 相馬事業所 関東自動車工業(株) 岩手工場 日産自動車(株) テクニカルセンター トヨタ自動車(株) 本社 財) 日本自動車教育振興財団 日野自動車(株) (株) 日立製作所 日立事業所 (株) シマダソリット (株) 東芝 (株) 日立メディコ (株) 実践マシンウェア (株) インフォマティクス メガソフト(株) 三菱電機(株) 鎌倉製作所 (株) デンソー技研センター (株) フジクラ (株) ルネッサンスソリューションズ マイクロソフト(株) 出光興産(株) 千葉製油所 (財) 東北電気保安協会総合技術センター 山形スリーエム(株) 富士電機株式会社 道都大学 学法人 中央工学校 (株) エフ・シーズ
---	---	--	----------------------------------	---	---	---	--	---	--	---	--	---

企業の声

- これまでの6年間の人材育成の仕組みがしっかりと根付き、確実な成果につながっていることを実感できた。これからも産学官の連携を強固にしていき、ものづくりを支えていけるようご協力お願いいたします。
- 各校とも、バラエティに富んだ産学官連携の取組を行っており、宮城県のものづくりに対する熱い思いを感じ取ることができました。これからも引き続き取り組んでいただければと思います。
- 各校の成果報告を聞き、知ることで次年度以降のクラフトマン事業を通して生徒へ行いたいことのイメージを得ることができました。
- 生徒たちが技術に関心をもっていく有効なスキームと理解できました。併せて、特に指導者、技術習得（指導知識習得）にもつながっており、非常に有効な施策と思いました。生徒たちの発表もあり、生徒の目が輝いていたのが印象的です。

生徒の声

- 仕事の厳しさや大変さを知りました。
- マナー、チームワーク、コミュニケーションの大切さを知りました。
- 資格の必要性を感じました。
- 今後の就職の話や社会人として働く上でのアドバイスをもらい、参考になりました。
- 現場で使われている技術を教えていただき、貴重な体験ができて良かったと思います。

教員の声

- 工業教員と教業界をしっかりとした絆で結んでくれました。協力企業の方々と学校が築いてきた信頼関係が基礎にあるからこそ、復興がはやく進んだのだと思います。
- 東北地方の高校生で誰も挑戦したことがない資格を取得することができました。
- 将来の就職に向けて、資格取得などに取り組む意識が向上しました。
- 生徒に先端技術に対する興味や関心が出てきました。
- ものづくりに関する興味や関心を生徒から引き出すことができました。

支援ネットワークの広がり

